

新市によせる

御領壮年会

会長 小村 孝雄

今 新市に 期待すること

国の施策である平成の大合併で、「南九州市」が発足し早7カ月余りが経過しました。新市の当初予算も総額327億5千万円が計上され、各々事業がスタートしたことを「議会だより」で知りました。

厳しい財政状況の中、旧3町に分け隔てなく均衡の取れた予算配分をし、市民が融和と一体化を目指せるまちづくりが大切だと思っています。

さて、我が南九州市は、風光明媚に恵まれた広大な大地に農地が広がり、お茶・さつまいもなどの生産量が日本一を誇る国内有数の食料供給基地です。こうした農産物のプ

ランド化や推進を図る一方、商工業の育成も大切と思っています。

南九州市地区商工会も合併対策合同研究会を立ち上げ、合併に向けて3商工会が合意形成を図るべく、共通する課題調査や研究を行う目的で6月5日スタートしました。

農林水産業・商工業と行政機関が手を携え、まちの活性化や発展を図る必要があると思います。

市内にはアグリランドえいや特攻平和公園、武家屋敷、清水磨崖仏など他に類を見ない素晴らしい観光地があります。訪れた観光客が満足できる町並み・商店街・宿泊施設の整備など、新市の構想に基づく思い切った改革を進め、市民が、「合併して良かった」と誇れるまちに、そして、市の基本理念である「自然豊かで創造と活力に満ち、

くらしといのちが輝くまち」を「やさしくまち」づくりに向けて邁進して欲しいものです。



川辺高校2年生

加藤 樹

僕たちの誇れる

新市に

川辺町・知覧町・頤娃町が合併し、今の南九州市になって約半年が経ちます。しかし、だからといって僕の生活に特にこれといった変化はありません。それもそうです。僕は中の人間ですから。

南九州市外に住んでいる人は、南九州市のイメ

ージをつかんでいる方もいるのかもしれませんが、僕が住んでいるのは南九州市の川辺町であって、南九州市自体のイメージを持つことができていません。変わらない日常とこのを平和かなと思うこともありますが、やっぱり合併したからには、「南九州市民なんだ」という実感も欲しい、というのが僕の意見です。

まだ合併して半年しか経っていないが、これから時間をかけて、それぞれの町の良い所や個性を市民全員で協力して伸ばしアピールする。そしてそれを固めて、確実な南九州市としてのイメージを作り上げる。これは新市によせる僕の希望であり、夢でもあります。

1年後、2年後、ひょっとしたらそれ以上……たくさん時間をかけて、これからどんどん発展していく南九州市、僕たちの誇れる新市の姿が楽しみです。

“議会を傍聴してみませんか”

次の議会は**9月2日**開会予定

手続簡単!! 本館2階で住所・氏名などを書くだけ



編集後記

梅雨も明け、毎日暑い日が続いております。

今年が一番茶は、30年ぶりの安値。また、飼料・肥料などの急激な値上がり相次ぐなか、農家にとっては厳しい経営状況が続いています。

議会としても、あらゆる情報を周知し、市民と一体となつて、この厳しい経済状況を乗り越えていきたいと思っています。

今後とも議会へのご協力をよろしくお願いいたします。

(峯苦 勝範)

▼広報編集委員会

委員長 森田 隆志
副委員長 峯苦 勝範
委員 竹迫 毅
菊永 忠行
田畑浩一郎
山下つきみ